



令和6年市川市芸術祭・文化祭参加

市響第436回

Since 1951

市川混声合唱団創立75周年記念  
行徳混声合唱団創立45周年記念

# 合唱の集い



第1部

「希望の歌・キズナの歌」より

旅立ちの日に、BELIEVE、上を向いて歩こう、少年時代、等

合唱：行徳混声合唱団 指揮：大津康平 ピアノ：渡辺研一郎

混声合唱組曲

「心の四季」

作詩：吉野弘 作曲：高田三郎

合唱：市川混声合唱団 指揮：大津康平 ピアノ：鈴木珠美

第2部

モーツァルト「レクイエム」  
(オシュトリーガ版)

合唱：市川混声合唱団・行徳混声合唱団

管弦楽：市川交響楽団 オルガン：木村理佐

2024.10.6 (日) 午後2時開演 (1時30分開場)

市川市文化会館大ホール

お問い合わせ：

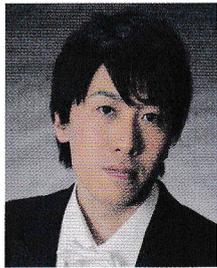
市川混声合唱団 TEL.047-339-3554 (篠田)

行徳混声合唱団 TEL.047-396-2303 (石井)

主催：市川交響楽団協会 共催：市川市

協力：山崎製パン株式会社 株式会社伊藤楽器

株式会社全日警



## 常任指揮者／大津 康平 (おおつ・こうへい)

バリトン・合唱指揮者。日本大学藝術学部音楽学科声楽コース首席卒業。卒業時に卒業演奏会に出演、藝術学部長賞を受賞。日本大学大学院芸術学研究科音楽芸術専攻修了、修了時に修了演奏会に出演。声楽を池田直樹氏、指揮法を川本統脩氏、合唱指揮を大谷研二氏に師事。第83回読売新人演奏会に出演、第3回声楽アンサンブルコンテスト全国大会一般部門1位金賞受賞。第13回中田喜直記念コンクール2位銀賞受賞。千葉県合唱連盟、松戸市合唱連盟理事、JCDA日本合唱指揮者協会実行委員、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。



## ソプラノ／中須 美喜 (なかす・みき)

宮崎県都城市出身。大分県立芸術文化短期大学、東京藝術大学卒業。藝大卒業時にアンカス音楽賞、同声会賞を受賞。第19回東京音楽コンクール入選。《愛の妙薬》アディーナ、《ゴイエスカス》ロサリオ（日本初演）等を演じる。古楽専門の室内合唱団サリクス・カンマコアに創立時から所属。クラシックだけでなくとどまらず、様々なジャンルの音楽を日本全国のファンに届けている。



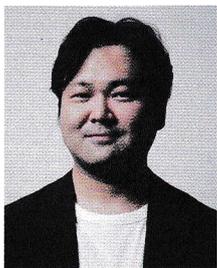
## アルト／富本 泰成 (とみもと・やすなり)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。世界で通用するトップレベルのアンサンブル歌手になるべく、「Vocology in Practice」「Estill Voice Training」「フースラーメソッド」など様々な発声メソッドとアカペラの為のイントネーション理論を学ぶ。海外での数多くの国際合唱コンクールや合唱フェスティバルへ参加した経験から、日本でも高いレベルのアンサンブル団体を作りたいと、「emulsion」「Vocal Ensemble 歌譜喜」「八重桜」の3つの団体を主宰する。2023年春、アンサンブルの演奏事業と音楽家としての演奏・指導の事業を併せた「株式会社 AcappellaLabo」を設立。主宰団体以外でもアンサンブル歌手として活動しており、「ヴォーカル・アンサンブルカペラ」「vocalconsort initium」にメンバーとして参加。東京混声合唱団レジデントメンバー。発声を小久保よしあき、稲幸恵、角田紘之の各氏に、声楽を菅英三子、渡辺健一、上杉清仁、川上洋司、赤沢啓子の各氏に、古楽演奏を花井哲郎、アカペラ・イントネーション理論を犬飼将博、合唱指揮を柳嶋耕太の各氏に師事。コーラス・ピーカパー、東京大学白ばら会合唱団、アンサンブルひろひろ指揮者。合唱団フォンス・フロロシス、モーツァルト記念合唱団指導アシスタント。市川混声合唱団、大久保混声合唱団ヴォイストレーナー。



## テノール／佐藤 拓 (さとう・たく)

早稲田大学第一文学部ドイツ文学専修卒業。在学中、同大グリーククラブの学生指揮者を務める。卒業後、イタリア・パドヴァに渡り、Maria G. Munari 女史のもとでクラシック音楽を学んだ。アンサンブル歌手、合唱指揮者として活動しながら、日本や世界の民謡・民俗歌唱の実践と研究にも取り組んでいる。近年はボイストレーナーとして、自身の考案した「十種発声」を用いた独自の発声指導を行っている。Vocal ensemble 歌譜喜、Salicus Kammerchor、Japan Chamber Choir 等のメンバー。東京稲門グリーククラブ、合唱団ガイスマの指揮者。常民一座ビュッカンダース座長、特殊発声合唱団、コエダイR合唱団 (Tenores de Tokyo) トレーナー。



## バス／松井 永太郎 (まつい・えいたろう)

青森県八戸市出身。東京藝術大学声楽科卒業。多田羅迪夫氏に師事。在学時にバッハカンタータクラブに所属。二期会オペラ研究所マスタークラス修了、修了時に優秀賞受賞。新進声楽家の夕べに出演。第30回市川市新人演奏家コンクールにて最優秀賞受賞。12人12声によるコンテンポラリー無伴奏曲を主に演奏する団体 Vox humana に入団し、その後アンサンブル歌手としてエクスノーヴォやCapella、アントネッロ、ハルモニアンアンサンブルなど様々な団体に研鑽を積む。二期会所属のオペラ歌手として「ダナエの愛」「ナクソス島のアリアドネ」「ばらの騎士」「サロメ」「平和の日」などのオペラに出演する。ZOZOマリンスタジアムにて国歌独唱。Salicus kammerchor、vocal ensemble 歌譜 emulsion、sound particles、新全日本都道府県歌再興委員会などに所属。二期会会員、フェリス女学院大学非常勤助手。

## ピアノ／渡辺 研一郎 (わたなべ・けんいちろう)

1990年生まれ。ピアノ、クラヴィコード、中世・ルネサンス期の教会音楽の演奏法などを学ぶ。早稲田大学政治経済学部卒業。東京藝術大学院修士課程音楽学専攻修了。グレゴリア聖歌の初期の記譜法「譜線無しネウマ」の研究を行なう。近年はソレム修道院（フランス）に滞在し、グレゴリア聖歌による日々のミサ・聖務日課に出席。ピアニストとして、あい混声合唱団や早稲田大学グリーククラブ等と共演、初演作品に携わる。2023年、「第72回東西四大学合唱演奏会」合同ステージ客演ピアニスト。歌い手としてはヴォーカル・アンサンブルカペラ、サリクス・カンマコアなどに所属。セルフプロジェクト"spin notes"にて公演を行う。聴衆に目を閉じるよう促し、「音楽そのもの」を感受する時空間の現出をテーマとしている。Spin notesのYouTubeでは「響きを見る」をコンセプトに、敢えて白い画面で即興演奏をアップしている。

## ピアノ／鈴木 珠美 (すずき・あけみ)

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノをクロイツァー豊子、篠井寧子、村松庸子の各氏に、指揮法を高階正光氏に師事。国立音楽大学千葉県同調会コンサート、市川市文化会館新人演奏会に出演。家永音楽事務所ピアノオーディションに合格。同事務所ジョイントリサイタルではスクリャピン、ラフマニノフ、リスト等の作品で好評を得る。モーツァルト「ピアノ協奏曲第21番」、グリーグ「ピアノ協奏曲イ短調」を市川交響楽団と共演。ストラヴィンスキー「ペトルーシュカ」などのオーケストラ作品にも出演。R・フリーダー氏（ウィーンフィル首席チェリスト）をはじめ、多くのソリストの伴奏、室内楽、合唱など、幅広い演奏活動を展開している。

# プログラムノート

## 第1部

### ◆行徳混声合唱団

曲集“届けこのメッセージ”〈希望の歌・キズナの歌〉から、一期一会の行徳混声バージョンでお届けします。

**BELIEVE (ビリーブ)** 作詞・曲：松本竜一 編曲：川西保朗

広い地球で熱い友情に出会った奇跡を歌っています。だれかを助けたり助けられたりした日々を思い出しながら。

**旅立ちの日に** 作詞：小島登 作曲：坂本浩美 編曲：松井孝夫

秩父市影森中の校長先生の詩に同校の音楽の先生が作曲。卒業生と在校生の歌いたい、歌ってほしい卒業ソング人気NO.1。成長への期待と美しい自然への感謝が心に響きます。

**少年時代** 作詞：井上陽水 作曲：井上陽水&平井夏美 編曲：今村康

富山県を舞台とした藤子不二雄原作の映画「少年時代」(1990年)の主題歌、発表から30年以上、井上陽水本人が大切に歌い続けています。

**見上げてごらん夜の星を** 作詞：永六輔 作曲：いずみたく 編曲：今村康

夜学に通う勤労青年たちを描いたミュージカルの主題歌を坂本九さんが歌って大ヒット。

一星になってしまった九ちゃんの優しい歌声はこれからも世界中の人の心に生き続けていくことでしょう--

**上を向いて歩こう** 作詞：永六輔 作曲：中村八大 編曲：牧戸太郎

坂本九さんの歌と口笛、“SUKIYAKI”のタイトルで海外でも大ヒット。

### ◆市川混声合唱団

《混声合唱組曲「心の四季」》 作詞：吉野 弘 作曲：高田三郎

昭和42年度文化庁芸術祭参加作品として、NHK名古屋放送局の委嘱により作曲されました。高田三郎作曲の芸術祭参加作品の中で唯一受賞を逃した作品であるが、『水のいのち』とならぶ高田三郎の代表作の一つに数えられています。

高田三郎は非常に多くの合唱作品を残しており、中でも「水のいのち」「心の四季」「わたしの願い」「内なる遠さ」「争いと平和」などは今でも数多くの合唱団で歌われています。また、敬虔なクリスチャンであり、日本語での典礼聖歌の曲を220曲余りも残しています。作詞家の吉野弘から提供された35編ほどの作品から7編を選び構成して、『水のいのち』とは全く趣きの異なった混声合唱組曲(1.風が 2.みずすまし 3.流れ 4.山が 5.愛そして風 6.雪の日に 7.真昼の星)を創り上げました。日本の四季が見事に謳われているその詞を組曲の象徴として第1曲に置き、あとは春夏秋冬を構成する詩を選んで、晩春から早春へと巡る季節(人生)の中に“生かされて在るいのち”、生と死を歌っている。高田三郎は詩の深底にある難解さをそのまま炙り出すのではなく、吉野弘のやさしい表情を生かした、親しみの上に靈性を感じさせる音を選び重ねることで、そこに詩の真実を表そうとしたのではないのでしょうか。

## 第2部

### ◆市川混声合唱団 行徳混声合唱団

W.A.モーツァルト レクイエム 二短調 KV626 Requiem in D オシュトリーガ補筆版

I 入祭唱 あわれみの賛歌 Introitus : Requiem /Kyrie

II 続唱 怒りの日/不思議な喇叭/恐怖の王/思い出したまえ/口をふさがれ/涙の日

Sequenz : Dies irae/Tuba mirum/Rex tremendae/Recordare/Confutatis/Lacrimosa

III 奉納唱 主イエス/賛美の生贄 Offertorium : Domine Jesu/Hostias

IV 感謝の賛歌 聖なるかな - ほむべきかな Sanctus - Benedictus

V 平和の賛歌 神の子羊-聖体拝領唱 Agnus Dei - Communio - Lux aeterna

いくつかのミステリアスな伝説とともに歌い継がれているモーツァルトのレクイエムを本日、2022年発表されたオシュトリーガ版により、千葉県内初演として演奏いたします。今まで広く演奏されてきたジュスマイヤーの補筆による『伝統となった形によるレクイエム』とは異なる部分があり、新鮮に、または、違和感も感じられるかもしれません。市川混声合唱団創立75周年、行徳混声合唱団45周年の記念の年に、新進気鋭の指揮者大津康平、両合唱団と市響の新しいチャレンジを応援いただけましたら幸いです。

モーツァルトはレクイエムを完成することができず、この世から旅立ってしまいました。妻コンスタンツェが数人の弟子に依頼し、主にジュスマイヤーが懸命な補筆を加えて完成し、注文主であるヴァルゼック伯爵のもとに届けられました。1800年にモーツァルトだけの作品として出版され、今日まで演奏され続けています。このジュスマイヤーの仕事について、ヨハネス・ブラームスは次のように語っています。「ジュスマイヤーはモーツァルトの構想を慎重に写した。そしてそれを崇敬の念とそれと同程度の入念さで補筆したのである」-ジュスマイヤー版校訂者-ノーヴァク(L.Nowak)、

市川混声合唱団、市川交響楽団、行徳混声合唱団の創設者、村上正治先生(1914-2003)もモーツァルトの作品をとっても愛好され、このレクイエムや雀ミサ(KV220)をはじめとするミサ曲、Sancta Maria mater Dei(KV273)、Ave verum corpus(KV618)をたびたび取り上げています。モーツァルト作品

の真実を探求する研究者たちにより、数々の補筆版が発表されていますが今回は、その中でも、新たに発見された資料や進歩した科学分析を取入れた新しい版により、これからも生き続ける作品として皆様にお届けします。

以下に、オシュトリーガによる楽譜の前書きから印象的なメッセージを引用します。

この版は、最も妥当性のある選択を模索し、モーツァルトの調性言語の技法を理解し、再構築あるいは完成のためのより健全な基礎を確立しようと努めると同時に、音楽の霊をたどってそれを作品の中で表現することを目標にしている。そのため、音楽理論、音楽史、音楽学、そして芸術などの視点を統合しようと試みている。

-中略-

もちろん、私の最善の努力をしても、いくつかの事どもは秘密を明かしてはくれない。誰しもそうなのだろうか？ 例えモーツァルトの天分が我々の理解を遥かに超えたところにあり、彼が意識的な探求、実験、拒絶などを経ることもなく、何もないところから真実を取り出すその紛れもない能力こそが彼にしかない特質なのだとしても、我々命に限りある者たちはそれでも無限の試行錯誤によって真実を追い求める。

ミヒャエル・オシュトリーガ Michael Ostrzyga 2022年 春

## 本日の出演者

### 市川混声合唱団

【ソプラノ】	三木 恵理子	【テノール】	石川 秀明
石原 友子	山口 美和子	川喜田 大亮	久米 英廣
岩崎 佳代子		小松 文和	中澤 一紀
岩澤 和子	【アルト】	松丸 悟	渡辺 利之
浦川 典子	伊藤 敦子		
大坂 正美	井山 ひとみ	【バス】	天田 祐之
小宅 裕美	加藤 康美	井山 利秋	榎本 貞次
各務 栄子	桑村 和子	岡本 慎一	加藤 幹雄
加藤 晶子	澤田 通代	篠田 要衛	田代 毅
小久保 陽子	篠田 妙子	野平 匡邦	
庄司 映路子	菅谷 明子		
関内 広子	露木 茜		
高橋 美香子	内藤 富士子		
中澤 冬里	原山 一枝		
中野 かよ	松波 圭子		
並木 美智子	山村 澄子		
秦 たか子	横塚 英子		
牧野 真奈美	松丸 美恵子		
増島 明子	渡辺 和子		
松本 芳枝			

### 行徳混声合唱団

【ソプラノ】	【アルト】	【テノール】
青山 裕子	グリーンズ菜穂子	中川 保典
赤堀 明菜	小林 美江子	名倉 秀治
沖本 正子	酒井 綾	
亀尾 真理	佐藤 和子	【バス】
川又 京子	佐藤 久美子	石井 省二
木附 利枝子	対田 志野子	城戸 莞爾
小林 朋子	瀧本 千津子	佐藤 洋幸
徳永 京子	土井 詢子	中原 晃治
古谷 ヤス子	福田 廣美	
松本 孝子	馬場 千鶴子	
森 恵美子	西井 玲子	
	野瀬 富美子	
	安田 睦子	

### 【団員募集】

来年の合唱の集いは10月26日(日)です。  
合同曲はヴィヴァルディ「グローリア」RV.589です。

一緒に歌いませんか。

詳しくは両団のホームページまでどうぞ！

### 市川交響楽団

【コンサートミストレス】	【第2ヴァイオリン】	【ヴィオラ】	中村 公一	【ファゴット】	【打楽器】
立田 祥子	滝澤 葉子	石本 恵理	日澤 優	遠藤 由紀子	時田 裕
	富田 八江子	内田 綾美	福原 耕二	尾崎 和行	【オルガン】
【第1ヴァイオリン】	中島 雪香	高橋 陽介	八重樫 妙子		木村 理佐
石崎 俊信	中野 さゆり	谷口 善樹		【トランペット】	
大橋 一郎	服部 恵子	奈良林 弘子	【コントラバス】	田崎 真二	
大橋 かおる	羽深 理絵	星 乗昭	池田 和正	八木 巧次	
皆合 愛子	早川 貴子	本郷 尚子	入村 尚美		【トロンボーン】
桑原 啓輔	牧田 太郎		上村 啓介		石黒 弘道
佐藤 薫	溝田 範子	【チェロ】	上山 優子		藤平 一仁
細貝 春	武藤 敦子	泉谷 良枝	【バセットホルン】		藪崎 裕至
山本 芳功	柳澤 敦子	岩田 理人	秋永 直美		
渡辺 惟		倉澤 倫子	八木 良子		
		倉澤 由和			